

会報

第46号 (2018/7/20)

広島県福山市木之庄町 4-3-14

Tel&Fax:084-917-5937

Mail:info@crrc-fukuyama.org



Community Renaissance
Research Center



今後の予定

4回連続講座 上手な転び方

「健康寿命を延ばすために」

同送のチラシを「覧下さい」。

先着順となっております。「参加お待ちしております」

おります。広報ふくやま『8月号でも募集予定ですので、どうぞお早めに。

第1回 講義編

講師：岡田修一 先生

日付：9月2日(日)

第2～4回 実技編

講師：中村和裕 先生

日付：第一回…9月29日(土)

第二回…10月13日(土)

第三回…10月20日(土)



ジェロントロジー研究会

「ケアの社会学」を読む会

どちらも8月はお休みします。

活動報告



「歳をとるほど大胆になるわ」

歌とお話し

6月6日の総会終了後に、歌曲集『歳をとるほど大胆になるわ』の演奏会を行いました。歌とお話しは福山市立女子短期大学名誉教授で、当会会員の平本弘子さん。ピアノ伴奏はアンサンブルピアノニストとして幅広く活躍中の、広島在住・上杉千穂さんでした。



上杉さん(左)と平本さん(右)

「歳をとるほど大胆になるわ」

「についてのあれこれ」

この歌曲集ができるまで

この歌曲のテーマは、現代の女性たちの直面している「女性の自立」と「高齢者問題」であり、芸術性と親しみやすさを兼ね備えた新しい日本歌曲として発表当時から話題を呼んでいるものです。

歌の原詩は英国の女性詩人、アストラ作の Older and Bolder (1990, Third Age Press)であり、詩集『歳をとるほど大胆になるわ』(岡田宏子訳、2002年、青柿堂)から選詩されたもの。平本さんのこの詩集との出会いは、当時の勤務先、福山市立女子短期大学の安川悦子学長との雑談の中で紹介された事がきっかけでした。

作曲はNHKラジオ体操のピアノ演奏で有名な加藤由美子氏。初演は2003年秋に、東京王子ホールで開催の平本宏子ソプラノリサイタル 友たちの声」。ピアノ伴奏は塚田佳男氏。

この歌曲は発表後、雑誌『音楽の友』に取り上げられるなど大きな話題を呼んでいます。

平本弘子、アストラに合う。そして…

2008年4月には、平本さんは岡田宏子氏の誘いを受けてロンドンのアストラのお宅を訪問し、本人の目の前で演奏する機会を得たそうです。同年8月、エストニアで開かれたEPTA(ヨーロッパピアノ教師連盟)にて演奏したのがヨーロッパ初演でした。

その後、楽譜は2010年に河合楽器出版事業部（現カワイ出版）から世に出ました。この楽譜には、歌：平本さん、ピアノ：加藤由美子氏のCDが付録についており、現在も版を重ねています。

以来、平本さんの「歳をとるほど大胆になるわ」の演奏も回を重ねて20回ほどに。その間、日本中で多くのソプラノ歌手により演奏されています。

原詩作者アストラはどんな人？

アストラ Asta (1927-2015)

1927年、ユダヤ系アメリカ人としてニューヨークに生まれました。ニューヨーク市立大学大学院修士。1962年よりロンドンに住みフェミニスト詩人としてフェミニズム運動に参加。また、Order Feminist Networkを主催するなど社会活動家として活躍しました。代表作は『帰ってきて 愛しい母よ』、『歳をとるほど大胆になるわ』など。2015年ロンドンにて88歳の生涯を終えました。

なお、結婚前、結婚後、そして離婚後も姓は否定して、彼女は父がつけてくれたアストラ（ラテン語で星を意味する）というファーストネームのみを使用してきました。



平本さんのトークに、皆が笑顔！

演奏のあとで

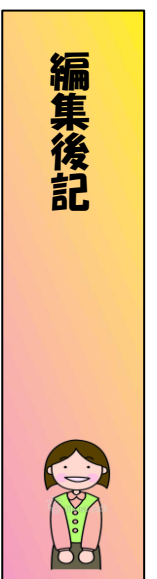
NPOの集會室は狭い会場であったので、観客と奏者の距離が大変近く、歌も伴奏もかなりの迫力でせまってきた、度肝を抜かれました。平本さんはただ歌うのみでなく、歌詞や台詞に合わせて椅子に腰掛けたり、立ったり、また歩きながらと、老いていく女性の心情を力強く演じていらっしゃいました。まず歌詞の過激さ、パワフルさに驚き、さらに目の前で繰り広げられる歌とピアノのエネルギーに圧倒される、といった具合です。

15分ほどの演奏の後は、我々聴衆も台詞の部分で演奏に参加しました。一人二枚ずつ台詞の書かれたカードが配られ、自分の順番がくると「さばばあ！」役立たず！」など強烈なセリフを思い思いに大声で発し、皆が一体となって演奏を楽しみました。

演奏後は平本さんによる歌曲集「歳をとるほど大胆になるわ」についてのお話しを聞きました。平本さんと詩集の出会いについて、また日本語訳についての面白いエピソードや、アストラご本人と面会された時の事などもお話いただきました。平本さんは話術巧みで、聴衆の笑いを誘いながら熱く語ってくださいました。最後にはこの歌曲集の今後の発展にも触れ、「この歌は今から年老いていく女性の歌でもあり、これからはもっと若い世代の人にも歌っていただきたい。」と、次世代に向けて開拓していきたい、という願いで話を締めくくられました。

「この歌を大事に歌い続けている」とおっしゃっていた平本さん。この歌曲集に対する大きな愛と情熱を感じました。

編集後記



この度の大雨による被害に遭われた方、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。そして直接の被害はなくても、断水で長期間不便な生活を送っておられる方も多くいらっしゃるでしょう。また、あちこちの道路で通行止めとなり、交通渋滞も深刻です。JRも寸断され、通勤や通学、買い物で不便な思いをされている方も多いと思います。

「こ福山駅周辺でも、スーパーでは水、ペットボトル飲料、カップ麺やレトルト食品をはじめ、米、パン、牛乳、肉、豆腐に葉物野菜などの陳列棚が空っぽになっていて、物流が滞っているのを感じます。（日々、品揃えは増えています。）」

7月5日・6日はかなりの雨量が長時間続きました。その降り方は激しく、これまでの人生で初めて 雨の降り方に恐怖を覚えました。そして普段はその存在にすら気付かない歩道下の下水管を流れる水の音に驚き、その滝のような勢いには身の危険を感じる程でした。

私は普段から防災用品として、ポーチの中にモバイルバッテリー、ペンライト、予備の電池、十徳ナイフ、保温シートに歯ブラシセット、ビスケット、マスクなどを入れて持ち歩いています。防災の基本は自助（じじよ）、公助（こうじよ）と言われています。自分には何が必要なのか普段から考え、備えておく事が重要と改めて気を引き締めました。家の防災グッズや食品のストックも、もう一度見直す予定です。

一刻も早い復旧を願っています。

（兼）